

業務部速報



No. 4

発行 25. 6. 25

JR東労組 業務部

申20号

「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた第3回交渉を行う！
新たな組織と働き方について」に関する説明申し入れ(その1) NO. 2

11. 新幹線統括本部を本社内に置く目的を明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
--------	-----------

- ・本社と支社の両機関の機能を持つことから統括をつけていたが、本社内に置くことで、統括機関という概念がなくなる。新幹線本部として組織立ち上げ、今の統括本部の仕事と現業の仕事を統括して発足する。
- ・人事 UT や勤労 UT はこれまでと同じ扱いでいく。
- ・基本的構造は変わらず、新幹線の乗務員区などの現業機関は新幹線本部の所属になる。
- ・新幹線は在来線と異なりエリアで分けていない。採用については、今でも新幹線統括本部は行っていないので、現行と同じ流れでの扱いになる。

12. 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス、電気システムインテグレーションオフィス及び東北建設プロジェクトマネジメントオフィス(各オフィスの工事区含む。)を本社内に置く目的を明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
--------	-----------

- ・広域にわたり、土木・インフラに非常に貢献してきた。作っただけではなく、その後の収益にも非常に貢献している。今でも本社の仕事をしながら、街づくり含め、後々の安全やサービスレベルの向上、収益拡大へ、スピード感のある経営のために本社執行部門として置くべきと考えた。
- ・人事 UT、勤労 UT は現行と同様とする。

13. 新たにサブマネージャーを新設する目的を明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
--------	-----------

- ・現業機関と企画部門との職名を一致させるために新設する。
- ・業務手当の区分は、業務手当（基本）の企画戦略の事業運営・職場のサポートを担う社員と業務手当（指定）を併給する場合もあるので、ケースバイケースとなる。
- ・駅長などは対外的に名乗れるように二次発令していきたいと考えている。

14. 基本給を職務能力給に変更する理由を明らかにすること。

会社の考え方	説明内容のポイント
--------	-----------

- ・職務を遂行することで仕事を進める能力は形成されていくと考える。
- ・基本給という方が分かりやすいというが、職務能力給のベースを入社年次や等級等に応じて 10,000 円以上引き上げることがポイント。採用給を大幅に引き上げた。「今後、全ての社員がさらに多様な役割を担っていくこと」を前提に引き上げた。賃金の逆転がおきないように賃金カーブを踏まえて行う。

次回は15項から議論します！